

**テーマ：『日本一のおんせん県おおいた 味力も満載』**

〈講師〉	(株) ジェイティービー旅行事業本部 観光戦略室 観光立国推進担当マネージャー	山下 真輝
	地域再生マネージャー カルチャーアットフォーシーズンズ代表取締役	中島 淳
〈パネリスト〉	(株) 四万十ドラマ代表取締役	畦地 履正
	特定非営利活動法人 竹田市観光ツーリズム協会 事務局長	工藤 隆浩
	つるみ観光(株) ホテル白菊 代表取締役社長	西田 陽一
	(株) ジェイティービー旅行事業本部 観光戦略室 観光立国推進担当マネージャー	山下 真輝
〈コーディネーター〉	観光・地域局 局長	森竹 嗣夫

開催日時 2012年10月10日(水) 13:00~16:50 (開場 12:30)  
 会場 ビーコンプラザ 中会議室 大分県別府市山の手町12番1号(0977-26-7111)  
 参加費 無料

**【セミナー概要】**

少子高齢化・人口減少社会を迎え、経済情勢の先行きも不透明な中、国内宿泊旅行の宿泊数・消費額等は伸び悩んでいます。グリーン・ツーリズムやエコツーリズムなどの多様な体験型観光の需要は高まっています。

また、急速な経済発展に伴い、アジア地域からの観光客は年々増加傾向になり、今後飛躍的な伸びが予測され、活発な誘致活動が全国各地で展開されています。

このような中、本県では、地域振興と観光振興を一体的に進め、県民との協働で観光による活力ある大分県づくりを目指すため、「大分県ツーリズム戦略」を策定し、観光マーケット情報を的確に捉え、県内各地の観光素材を生かした魅力ある観光商品づくりなど、観光振興を着実に進展させる総合的・効果的な取組を推進することとしています。

このため、本セミナーでは、(株)ジェイティービー旅行事業本部 観光戦略室 観光立国推進担当マネージャー 山下真輝氏をお招きし、『大分県の新成長戦略「観光立県戦略」を考える～アジア大交流時代に大分県は何をすべきか?～』についてお話しいただきます。次いで、ふるさと財団の地域再生マネージャーとしてご活躍の中島淳氏より、「交流と観光が重なる、地区という単位の集客」について、事例紹介による実践的なお話をいただきます(第一部)。

また、第二部では、県観光・地域局長 森竹嗣夫氏をコーディネーターとして、道の駅「四万十とおわ」を指定管理者として運営し、何もなかった地域に年間10万人を集客した(株)四万十ドラマ代表取締役の畦地履正氏、竹田市独自の温泉を活用した滞在型のシステムの「温泉療養保健制度」の実証実験などに取り組んでいる竹田市観光ツーリズム協会事務局長の工藤隆浩氏、宮城県南三陸町の被災者の方々に別府温泉を10回にわたり届け、別府温泉あったかプロジェクト実行委員長も努めた、つるみ観光(株)ホテル白菊代表取締役社長の西田陽一氏に、基調講演をしていただいた 山下真輝氏にも加わっていただき、「大分県ツーリズム戦略の目標達成に向けて」をテーマにしたパネル・ディスカッションを催します。

**【次第】**

〈第1部〉 司会

13:00	開会挨拶	ふるさと財団 理事長 柚木 憲一	
		大分県 副知事 二日市 具正	
13:15	基調講演	テーマ『大分県の新成長戦略「観光立県戦略」を考える ～アジア大交流時代に大分県は何をすべきか?～』	
		(株) ジェイティービー旅行事業本部 観光戦略室 観光立国推進担当マネージャー	山下 真輝
14:15	事例発表	テーマ『交流と観光が重なる、地区という単位の集客』	
		カルチャーアットフォーシーズンズ代表取締役	中島 淳
15:05	休憩	～15分間～	

〈第2部〉

15:20 座談会「大分県観光戦略の目標達成に向けて」

【パネリスト】

(株) 四万十ドラマ代表取締役	畦地 履正
特定非営利活動法人 竹田市観光ツーリズム協会 事務局長	工藤 隆浩
つるみ観光 (株) ホテル白菊 代表取締役社長	西田 陽一
(株) ジェイティービー 旅行事業本部 観光戦略室 観光立国推進担当マネージャー	山下 真輝

【コーディネーター】

観光・地域局 局長	森竹 嗣夫
16:40 地域再生マネージャーの短期地域診断のご案内 ふるさと財団 地域再生部長	島田 大輔
16:50 閉会	

【セミナー内容等のお問い合わせ先】

(財) 地域総合整備財団 (ふるさと財団) 地域再生部 (担当) 榎本 (ますもと) 03-3263-5736

【参加申し込みのお問い合わせ先】

大分県企画振興部 観光・地域局 観光・地域振興課 (担当) 伊東 (いとう) 097-506-2112

講師等の略歴

〈基調講演、パネリスト〉

ジェイティービー地域交流ビジネス推進室マネージャー 山下真輝

1993年JTB入社大分支店配属。2007年JTB九州本社地域活性化事業推進室。2008年同室長。2010年ジェイティービー 旅行事業本部 地域交流ビジネス推進室(現観光戦略室) マネージャーとして観光庁他霞ヶ関対応チームとして活動開始。2007年～2009年九州運輸局九州観光まちづくりアドバイザー会議委員。2008年～福岡経済同友会調査研究委員。2009年福岡県九州新幹線開業イベント企画準備委員。2010年観光庁スポーツツーリズム推進連絡会議事務局、観光庁観光地域づくりプラットフォーム研究会メンバー。2011年観光庁観光地域づくり人材育成ガイドライン検討会委員、観光庁観光地域づくりプラットフォーム人材育成検討会委員。2012年～日本スポーツツーリズム推進機構観光地域づくり委員長、福岡地域戦略推進協議会観光部会副部会長等を歴任。



〈事例発表〉

カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役 中島淳

兵庫県出身。北海道大学農学部卒。1988年(株)リクルートに就職。2001年(株)カルチャーアットフォーシーズンズを設立し代表取締役に就任。2006年豊島区にアンテナショップ開設。2007年開発した農産物パッケージが2008年グッドデザイン賞受賞。主な活動実績としては、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房地域活性化伝道師。ふるさと財団では、地域再生マネージャーとして、2005年度～2007年度山形県遊佐市、2010年度高知県須崎市、2011年度愛知県岡崎市を担当。地域再生セミナー講師としては、2009年度沖縄県、2010年度愛知県、2011年度北海道等、多岐に亘って活躍している。



## <パネリスト>

### 四万十ドラマ代表取締役 畦地履正

高知県出身。高知東高等学校卒。1982年通信関連企業入社。1987年地元十川農協（現高知はた農協）に就職。1994年四万十川流域町村（旧大正町・十和村・西土佐村）が出資設立した株式会社四万十ドラマに就職。「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに地域と密着し、自然循環型企業を目指した事業展開に従事する。2007年 道の駅「四万十とおわ」を指定管理者として運営。同年、代表取締役に就任。

その他、四万十川流域観光集客のシステムをつくる「四万十また旅プロジェクト」にも参画し、新たな観光産業を生み出し中である。



## <パネリスト>

### 特定非営利活動法人 竹田市観光ツーリズム協会事務局長 工藤隆浩

大分県竹田市出身 東京で学生生活のかたわら舞台の仕事を経験。1984年 竹田市役所市民課に勤務。以後、地域活性化、社会教育行政などを経験して、2002年から商工観光課勤務。商工観光課では半官半民の地域づくり研究機関「竹田研究所」事務局としてエコミュージアムを土台にした地域づくり・観光振興に関わる。2006年 市町村合併に伴い竹田市観光ツーリズム協会が発足（事務局次長）。2009年 法人化し第三種旅行業を取得。2011年 専任事務局長。竹田市観光ツーリズム協会では滞在型の商品づくりを検討する九州ロングステイの実証実験や熊本県阿蘇地域や宮崎県高千穂町などと連携して「阿蘇くじゅう観光圏」に取り組む。一方で竹田市独自の制度として2011年から温泉を活用した滞在型のシステムの「温泉療養保健制度」の実証実験を行っている。



## <パネリスト>

### 別府温泉ホテル白菊 代表取締役社長 西田陽一

大分県出身。慶応義塾大学法学部政治学科卒。1984年にJTBに入社。1988年 家業である別府温泉「ホテル白菊」入社。1998年（社）別府青年会議所 理事長就任。2006年 ホテル白菊代表取締役社長就任。2011年 大分県旅館ホテル生活衛生同業組合会計常務理事就任。2011年 別府市旅館ホテル組合連合会副会長就任、別府観光産業経営研究会代表幹事就任、別府温泉あったかプロジェクト実行委員長。2012年 おんせん県観光誘致協議会会長就任。



## <コーディネーター>

### 観光・地域局 局長 森竹嗣夫

大分県出身。1973年県入り。2008年 商業・サービス業振興課長。2009年 団体指導・金融課長。2011年 南部振興局長。2012年 観光・地域局長。



